



2022年4月15日

各位

会社名 清鋼材株式会社  
(コード番号 3448 TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役 星野 陽一  
問合せ先 取締役経営管理部長 山本 正人  
TEL 025-553-0121  
URL <https://www.suga-steel.com/>

## 業績予想の公表及び特別利益の計上に関するお知らせ

2021年11月19日付で公表した「2022年3月期中間決算短信〔日本基準〕(連結)」において開示を見送っていた当社の2022年3月期連結通期業績予想及び2021年11月18日付で公表した「連結子会社の異動を伴う出資持分の譲渡に関するお知らせ」において精査中としていました当該持分譲渡による影響について、下記の通りお知らせいたします。

### 1. 2022年3月期 連結通期業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
今回発表予想	百万円 4,597	百万円 212	百万円 207	百万円 90	円 銭 260.00
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	3,215	△32	△28	△23	△79.96

### 2. 特別利益(子会社株式売却益)の内容

当社の連結子会社である昆山清陽精密機械有限公司は、2003年3月に設立し、主に中・大型の建設機械及び産業機械用の鋼材部品加工を主体として、事業を営んでおりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、本事業を取り巻く経営環境の変化や今後の事業の方向性を勘案した結果、当社が保有する全出資持分を譲渡し、2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)において、特別利益に子会社売却益54百万円を見込んでおります。

### 3. 公表の理由

2022年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を、2021年11月19日の中間決算発表時点では合理的に判断することが困難であること、また、連結子会社であった昆山清陽精密機械有限公司の持分譲渡の影響額を算定中であることから、未定としておりました。今般、昆山清陽精密機械

有限公司の2021年12月期決算数値が概ね確定し、当該持分譲渡による影響額を算定可能となったこと、世界的には新型コロナウイルス感染症の影響が続いているものの、日本においては、規制緩和等段階的に経済活動が回復傾向にある状況等を鑑み、現時点で収集可能な情報を基に、業績予想を公表することといたしました。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上